

冬二裏

みてはうらやみまづしきをみてはにくみ

夢へゆめへのうちの夢眼へゆめまなへのまへのつねなさに
心の月をすませとも御ゆへを思ふ思ひ

には二世へふたよへの道へみちへまどひぬへかりつるを今
すでに出家をとげけふをみつ今生へこんじやうへ

のねがひみちて當来へたうらいへの望へのぞみへたつしぬべ
しと申て

極重惡人無他方便唯稱弥陀得生極樂へごくぢうあくにんむたほうべんゆいせうみだとか
しやうごくらくへ

此文へこのもんへをつねになへ給ふべし今生にて